

○ 「攻めの担い手」育成対策 ～農地の大区画化～

現 状

- 不整形、狭小、排水不良などの**条件の悪い農地は、規模拡大志向の農業者も敬遠**するため、高齢化に伴って**耕作放棄地化**することが懸念されています。

要望のポイント

- 土地利用型農業の競争力・体質強化を図るためには、**良好な条件を備えた農地の集積を従来よりも加速**する必要があります。
- 農地の**大区画化・汎用化**を行って、**その70%以上を集積**することで、**地域農業の柱となる大規模経営体を育成**します。

事業の概要

- 不整形・狭小な**農地を大区画化**し、作業効率を飛躍的に向上させます。

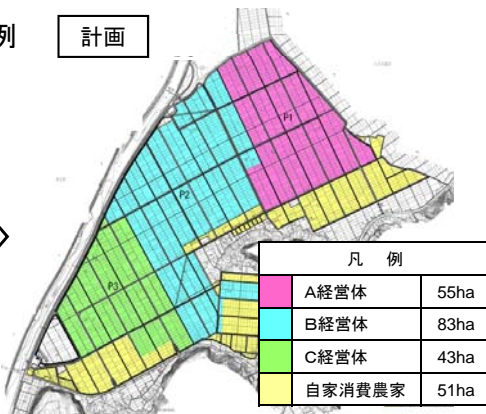
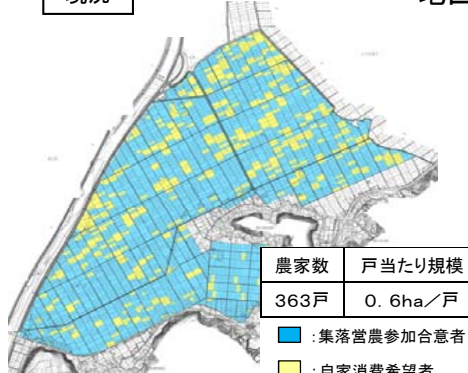


- 地域の中心となる経営体に**70%以上を集積し、大規模経営体を育成**します。

現況

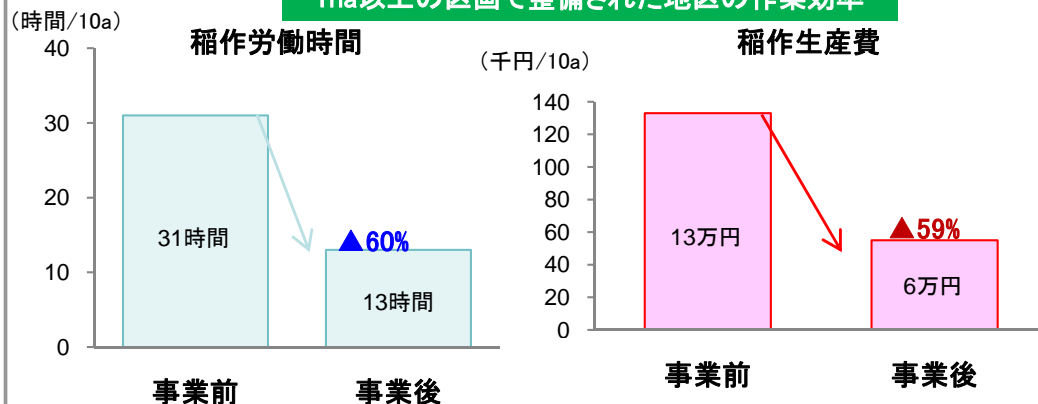
地区事例

計画



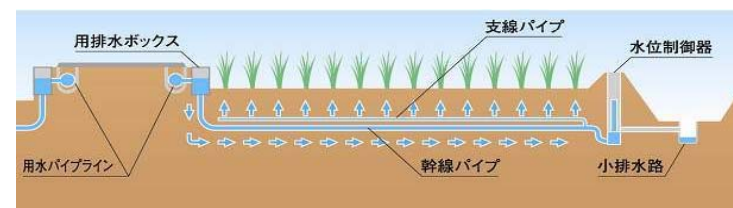
事業の効果

1ha以上の区画で整備された地区の作業効率

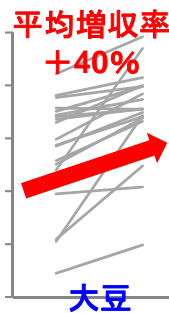


注:平成21年度完了17地区での実績

暗渠排水・地下かんがいによる大豆・麦の増収と品質の向上

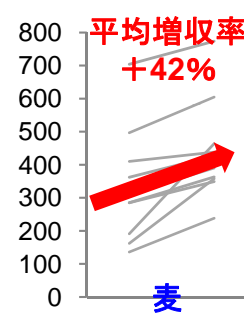


(kg/10a)



未整備 整備済

(kg/10a)



未整備 整備済

注: 国・県等の研究機関の試験成績 (H17~20、大豆のべ22ほ場、小麦のべ11ほ場)

